



# 地域おこし協力隊通信

—第18回—

協力隊の青田です。夏真っ盛りですね。とは言っても能代の気候は本当に過ごしやすいです。朝夜は肌寒いくらいで、少し暑くても過ごしやすく感じます。東京に住んでいた頃には感じたことのない感覚です。

能代に来て3カ月がたちました。すっかり、生活にも慣れ、さまざま方との出会いがあり、少しずつですが仕事も前に進み始めています。

能代に住んで感じるのは、出勤時の朝の爽やかな空気。帰りの夕陽。普段の心地よい風の音や遠くに見える白神山地の山肌。そして、一番の感動は星が輝く夜空です。こんなにもきれいな星空は今まで見たことがなく、最初に見たときは思わずため息が出ました。



自然の息遣いを感じる  
雨上がりの落合浜

私は今の能代での生活のように、自然の空気や音を気にして過ごしたことがありません。都会での生活は自動車の音や人々の喧騒、ひっきりなしに聞こえる電車の音、夜でも明るすぎて見えない空など、人が作り出す環境でした。

それぞれの環境について良しあしはありますが、能代はこの自然が自慢できるポイントの一つだと思います。皆さんが普通に見える光景かもしれませんが、こんなすてきな体験ができる能代に移住し、本当に良かったと思っています。

能代市地域おこし協力隊ホームページ

<http://www.shirakami.or.jp/~noshiroplanets/>

問合せ 市民活力推進課 ☎89・2212



このコーナーでは、市内で操業する誘致企業を紹介します。



No.59

誘致企業編

## リサイクルを通して地球も人も豊かに 秋田エコプラッシュ 株式会社

今回は、能代工業団地で平成16年に操業した秋田エコプラッシュ株式会社を訪問し、6月に新たに代表取締役社長に就任した松井隆伸さんにお話を伺いました。

### 秋田エコプラッシュはどのような会社ですか。

国により認定された秋田県北部エコタウン計画に基づく事業所です。一般家庭などから排出されたプラスチックを再生処理し、それを原料として新たなプラスチック製品を製造しています。

現在の主力製品は、大雨やゲリラ豪雨などに備えるための雨水貯留槽の構造部材です。駐車場や公園などの地中に埋められ貯留空間を作り出すために使用されます。原料は廃プラスチック100%です。

### 能代市での操業となった理由を教えてください。

東北電力能代火力発電所か

ら出される石炭灰と廃プラスチックを原料とする製品を製造するために能代市で操業しました。

なお、現在は石炭灰を使用した製品については受注生産となっております。



廃プラスチックを選別・粉碎へと運ぶベルトコンベヤー

### —社員からひとこと—



東北各地から届く原料の廃プラスチックの前

事業推進課

課長 榎森 哲也さん(三種町)

この会社の創業時に入社し11年目となりました。長男であったため地元で就職したいと考えていましたが、能代市にエコタウンの事業所ができるということで、興味を持ち面接を受け、採用されました。

会社では若い人の意見も取り入れてくれますし、その意見をみんなで話し合い作業改善などを図っており、みんなが明るく働いています。

また、個人の努力も認めてくれますし、技術も伸ばしてくれる会社です。

企業理念やモットーなどを教えてください。

「リサイクルを通して地球も人も豊かに」を会社理念としています。この言葉は従業員が自ら考えたものです。会社では、従業員が自ら考え、責任を持ち仕事ができる環境を大切にしています。今後とも企業理念を忘れずに、大切な資源の有効活用に努めていきます。皆さんも「捨てればごみ、分ければ資源」を忘れないでください。



【会社概要】  
代表取締役 松井 隆伸  
所在地 能代市扇田字扇洲 11-1  
☎58-5600  
設立 平成16年2月  
事業内容 廃プラスチックを再生した雨水貯留槽ブロック部材の生産など